

# 2023-24 年度

WEEKLY REPORT ROTARY CLUB OF FUKUSHIMA WEST. D2530



世界に希望を生み出そう

第  
2530  
地区

## 福島西ロータリークラブ会報

会長 渡辺 敬蔵  
幹事 宮崎 秀剛  
奉仕プロジェクト  
委員会委員長 寺島 英樹  
会報写真担当 朝倉 久仁男

令和6年3月11日(月) 第27回 通算第1689回例会

・例会日/月曜日 12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎ (024) 535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎ (024) 536-1010・FAX (024) 536-1011 Eメール/ f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第27回例会 点鐘 12:30

◇開会点鐘 渡辺 敬蔵 会長

◇ロータリーソング  
「我等の生業」  
ソングリーダー  
黒澤 信之 会員



◇四つのテスト唱和  
黒澤 信之 会員

- ◇お客様並びにビジター紹介
- 元プロ野球選手 鈴木 哲 様
  - 二本松ロータリークラブ 会長 内藤 哲太郎 様
  - 二本松ロータリークラブ 会長エレクト 渡辺 忍 様
  - 二本松ロータリークラブ 副幹事 浜崎 広志 様



◇ 退会あいさつ 石川 淳一 会員



◇会長あいさつ  
渡辺 敬蔵 会長



本日は、二本松ロータリーから内藤会長、渡辺会長エレクト、濱崎副幹事にメーキャップを頂いております。卓話を頂く鈴木哲様にもお越しいただいての例会です。

今日は3月11日で、あの東日本震災から満13年という日です。そこで、「ロータリーの友3月号」に掲載されている「ふくしまに職住を定めた私 廃炉と復興への思い」や最近の新聞やテレビ報道で気になった事についてお話をしたいと思います。

まず、「ロータリーの友3月号」の木野正登(きのまさと)氏の記事についてです。氏は発災当時経済産業省資源エネルギー庁の職員であり震災後すぐに福島に赴任、その後移住したとのこと。

記事の内容は、「『ALPS』とは、Advanced Liquid Processing Systemの略であり、さまざまな放射性物質を取り除いて浄化する『多核種除去設備』のことである。まず知っていただきたいのは、この設備により、放射性物質を海に流していい安全な基準まで浄化処理した水を、ALPS 処理水と称することです。」と書いています。

更に、ALPS 処理水について、「形状として、フィルターがいくつも並んでいる機械を想像してください。フィルターをどんどん通していくと、放射性物質が取れていきます。ただ、残念なことにトリチウムという物質は取れません。他の物質も微量に入っているが、主にトリチウムが入った水がALPS 処理水の実態です。」と記載しています。

その後「トリチウムが地球上に普通に存在すること、我々体内にもあること」などトリチウムの安全性について書かれています。

以上が記載内容ですが、この記事で大変気になることがあります。

まず、「ALPS 処理により放射性物質が取れていく」という表現です。ALPS が行っているのは、ALPS に充填されたキレート樹脂により、水中の放射性物質を樹脂に吸着・分離していることであり、その結果水中の放射性物質が減るという事です。放射性物質は、水から樹脂に移動したという事で、全体の放射性物質の量は何ら変わっていません。ALPS 処理により放射性物質が「消えた」訳ではありません。水から、樹脂に移動し、樹脂に濃縮されただけです。

問題なのは、水はきれいになったが、樹脂が高濃度放射性物質となったこと。そして、その放射能を安全にする方法が現在の科学では「無い」という事です。放射性物質がその放射性がなくなるのを待つしかないのです。この点についての記載が全くないのが大変気になります。

放射性物質の半減期は、トリチウムは12年、セシウム137は約30年、ウラン238は約45億年です。時間をかけて放射性物質の影響がなくなるのをじっと待つしかありません。その間、放射線の影響を受けないためには、ノルウェーなどの地下の深い岩塩層の中に閉じ込めておくのです。

先週の新聞や、テレビで、「所沢の環境省調査研究所で汚染土壌の安全性確認をしようとしたところ（芝造成）、住民の理解が得られなかった」旨の報道があった。

この話の問題点は、住民の発言である「安全なら、福島でやればよいだろう」に表れています。確かに安全なら、わざわざ東京（所沢）でやらなくてもいい訳で、一理あるかと思えます。汚染土壌（低濃度）の利用方法の難しさが見て取れます。誰も放射性物質を自分のそばに置きたいとは思いません。環境省の目指したものが何かが分かりません。

どちらの話も汚染物質の処分が問題となっています。残念ながら、国や東電は、根本的な問題（廃炉、汚染土壌の30年経過後の県外処分など）に正しく向き合っていないとしか感じません。

鈴木哲氏の卓話がありますので、これまでとします。

◇幹事報告 宮崎 秀剛 幹事

○お知らせ

- 3/16(土)二本松市民交流センターにて県北第一分区インターシティミーティングが開催されます。当クラブより渡辺会長、宮崎幹事、久米会員、黒澤会員、齋藤武二会員が出席いたします。
- 3月ロータリーレートは1ドル151円となっておりますのでお知らせいたします。

## 委員会報告

◇プログラム・出席・スマイリングボックス小委員会報告

西形 健吉 委員長

○二本松ロータリークラブ 会長 内藤哲太郎様  
今日はよろしくお祈りします。

○二本松ロータリークラブ 会長エレクト 渡辺忍様  
今日はお世話になります。

○二本松ロータリークラブ 副幹事 浜崎広志様  
本日メーキャップさせていただきました。いつも大変お世話になっております。IMと観桜夜間合同例会お世話になります。

○渡辺敬藏会長  
本日は、二本松ロータリークラブの内藤会長、渡辺会長エレクト、浜崎幹事にメーキャップいただきました。いつも大変お世話になっております。また、鈴木哲様には卓話をいただくこととなっております。よろしくお祈りします。

○宮崎秀剛幹事  
鈴木哲様のゲストスピーチ、楽しみにしております。二本松RC会長をはじめとするメンバーの皆様、ようこそお越し下さいました。また、石川さん本日までありがとうございました。

○石川淳一会員  
3年間大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

大平謹一郎会員／黒澤信之会員／齋藤武二会員／佐藤卓立会員／佐藤慶行会員／高梨哲男会員／高橋智弘会員／寺島英樹会員／西形健吉会員／野尻榮一会員

◇会報・雑誌・広報・IT小委員会報告

本日のスマイリングBOX集計16件 32,000円

ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇本日のプログラム

講師紹介：石川 淳一 会員

◆ゲストスピーチ

元プロ野球選手 鈴木 哲 様

元プロ野球選手 鈴木哲 (すずきてつ) 様より、高校時代の思い出や大学進学以降、プロ野球選手になるまでの道のり、西武ライオンズ引退後のスカウト時代の話など貴重なお話をいただきました。



### プロフィール

1964年1月22日生まれ (60歳)

福島県立福島高等学校から慶應義塾大学を経て、熊谷組へ入社。社会人1年目の1988年ソウルオリンピック野球日本代表、銀メダリストとなる

1989年度ドラフト会議で西武ライオンズから二位指名を受けて入団

1990年から先発・中継ぎとして1軍の試合に登板し、同年9月12日の対ロッテ戦ではプロ初先発で完封勝利を挙げる

1991年オープン戦の第一戦に先発するなど期待され、7月には連続完投勝利を挙げるなど14試合に先発、同年の広島との日本シリーズでは第4戦に登板し、2回を3安打1失点に抑える

1993年オフにトレードで広島東洋カープへ移籍

1995年10月に金銭トレードにより西部に復帰

1997年シーズンを最後に現役引退

引退後は西武のスカウトとして東北地区や海外を担当

2012年に二軍ディレクターに就任に就任、2017年からは編成部(プロ担当チーフ)となる

2023年ベースボール・チャレンジ・リーグ(ルートインBCリーグ)・群馬ダイヤモンドペガサスの監督に就任、同年退任



◇閉会点鐘

渡辺 敬蔵 会長

◇会報カメラ担当

朝倉久仁男 会員